第 19 回工学部国際交流フォーラム「Ginga Lecture」実施報告

２０１４.１２.１９

研究高度化・グローバル化特別対策室

工学部研究高度化・グローバル化特別対策室では、様々な国の大学との研究交流を活発にし、さらに学生交流を推進することによって、工学部に於ける教育と研究の高度化・グローバル化を進める活動を行っております。その中の一つとして、国際交流フォーラムを開催しております。

今回、ドイツ･マインツ大学教授およびドイツ・ヘルムホルツ重イオン科学研究所グループリーダーであり、また今年９月から岩手大学客員教授を務められている齋藤武彦先生を招聘し、第 19 回工学部国際フォーラムおよび岩手大学特別講演会を下記の日程・内容で開催しましたので報告いたします。

１．第 19 回岩手大学工学部国際交流フォーラム

◆演題：『教育システムおよび科学教育の日独の比較』

◆日時：１２月１８日（木）15:30～17:30

第１部：講演会　15:30～17:00

第２部：茶話会　17:00～17:30

◆場所：復興祈念銀河ホール 岩手大学総合教育研究棟（環境系）

２．岩手大学特別講演会

◆演題：『留学のススメ　若者よ、世界へ飛び出せ!!』

◆日時：１２月１９日（金）10:30～12:00

◆場所：復興祈念銀河ホール 岩手大学総合教育研究棟（環境系）

【概要】：　齋藤武彦先生は、大学院以降、海外で主に原子核物理学を専門に教育研究に携わってこられた一方、東日本大震災以降、主に東北３県の被災した地域の学校や学習支援団体を頻繁に訪問し、子どもたちに科学の特別授業を行っている先生です。今回は、教育システムと海外留学をテーマに、それぞれ主に教職員と学生向けの二つの講演会を開催しました。

12 月 18 日の第 19 回「Ginga Lecture」では、齋藤先生のご息女のドイツでの教育経験を例に、ドイツの教育システムに関する詳しいお話がありました。「子供達にとって学校はパラダイス」、「学校はあくまで教育のみを行う場」など、日本の教育と大きな相違があることを印象づけられた講演でした。教職員を中心に約 30 名が聴講しました。

翌日の岩手大学特別講演会では、ご自身の海外留学および海外生活経験についてのお話がありました。講演後も積極的に質問にくる学生がいるなど、世界に眼を向けるきっかけとなる講演になったようです。マテリアル工学科の学部生を中心に約 70 名が聴講しました。

【問い合わせ先】
工学部 研究高度化･グローバル化特別対策室　井上、齋藤
TEL: 019-621-6405　　Email：kenguro@iwate-u.ac.jp



★　第 19 回銀河レクチャー（H26 年 12 月 18 日）



世話人の藤代教授によるフォーラム説明



講演中の齋藤先生２



講演中の齋藤先生１



講演後のフリートーキングの様子



齋藤先生を囲んでの集合写真

★　岩手大学特別講演会（H26 年 12 月 19 日）



学生たちを前に熱弁を振るう齋藤先生



話に聞き入る学生たち